

就労継続支援A型事業所におけるスコア表 (全体)

事業所名	アシストクルー長崎
住 所	長崎市小江町1番地10
電話番号	095-848-5300

事業所番号	4210104909
管理者名	田中 政則
対象年度	令和7年度

(I) 労働時間		80 点
①1日の平均労働時間が7時間以上		
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満	○	
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		点

(II) 生産活動		40 点
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上		
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賃金の総額以上	○	
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賃金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額未満		
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点		点

(III) 多様な働き方 (※)		0 点
①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度		
就業規則等で定めている		
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている		
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている		
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている		
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている		
小計 (注1)		0
※ 8項目の合計点に応じた点数 (注1) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点		

(IV) 支援力向上 (※)		0 点
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		
参加した職員が1人以上参加している		
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合		
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている		
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合		
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している		
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計 (注2)		0
※ 8項目の合計点に応じた点数 (注2) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点		

(V) 地域連携活動		○	10 点
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している			
1事例以上ある場合:10点			

(VI) 経営改善計画		○	0 点
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。			
期限内に提出していない場合:-50点			

(VII) 利用者の知識・能力向上		○	10 点
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。			
1事例以上ある場合:10点			

項目	点数	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点
労働時間								80点	
生産活動		-20点	-10点	20点	40点	50点	60点		
多様な働き方		0点	5点	15点					
支援力向上		0点	5点	15点					
地域連携活動		0点	10点						
経営改善計画		0点	-50点						
利用者の知識・能力向上		0点	10点						

合計	140	点	/ 200点
----	-----	---	--------

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（実績 I ～IV、VI）

(I) 労働時間					
前年度（令和7年度）					
雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	10,886	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	1,711	人
				利用者の1日の平均労働時間数	6.3
					時間
(II) 生産活動					
会計期間（ 月～ 月）					
前々々年度（ 年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	円	利用者に支払った資金総額	円	収支	円
前々年度（ 年度）	円	利用者に支払った資金総額	円	収支	円
前年度（7年度）	円	利用者に支払った資金総額	円	収支	円
生産活動収入から経費を除いた額	11,734,996	11,209,478	525,518		
(III) 多様な働き方					
前年度（ 年度）における取組（全体表「(III) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）					
①免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度		②利用者を職員として登用する制度		③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律	
<input type="checkbox"/> 免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度を定めている		<input type="checkbox"/> 利用者を職員として登用する制度を定めている		<input type="checkbox"/> 在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている	
④フレックスタイム制に係る労働条件		⑤短時間勤務に係る労働条件		⑥時差出勤制度に係る労働条件	
<input type="checkbox"/> フレックスタイム制に係る労働条件を定めている		<input type="checkbox"/> 短時間勤務に係る労働条件を定めている		<input type="checkbox"/> 時差出勤制度に係る労働条件を定めている	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		⑧傷病休暇等の取得に関する事項			
<input type="checkbox"/> 有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている		<input type="checkbox"/> 傷病休暇等の取得に関する事項を定めている			
(IV) 支援力向上					
前年度（ 年度）における取組（全体表「(IV) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）					
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		②研修、学会等又は学会誌等において発表		③視察・実習の実施又は受け入れ	
<input type="checkbox"/> 研修計画を策定している <input type="checkbox"/> 外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。		<input type="checkbox"/> 研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している		<input type="checkbox"/> 先進的事業者の視察・実習の実施している もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている	
※研修名 研修講師 実施日・受講者数 月 日 人		※研修、学会等名 実施日 月 日 ※学会誌等名 掲載日 月 日 発表テーマ		※先進的事業者名 実施日/参加者数 月 日 人 ※他の事業所名 実施日/参加者数 月 日 人	
④販路拡大の商談会等への参加		⑤職員の人事評価制度		⑥ピアサポーターの配置	
<input type="checkbox"/> 販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。		<input type="checkbox"/> 職員の人事評価制度を整備している <input type="checkbox"/> 当該人事評価制度を周知している		<input type="checkbox"/> ピアサポーターを配置している <input type="checkbox"/> 当該ピアサポーターは「障害者ピアサポート研修」を受講している	
※商談会等名 主催者名 日時 月 日 内容		人事評価制度の制定日 年 月 日 人事評価制度の対象職員数 名 うち昇給・昇格を行った者 名 当該人事評価制度の周知方法		※配置期間 月 日～ 月 日 就業時間 職務内容	
⑦第三者評価		⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等			
<input type="checkbox"/> 前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている		<input type="checkbox"/> ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている			
※評価を受けた日 月 日 第三者評価機関		※認証を受けた日 月 日 規格等の内容			
(VI) 経営改善計画					
<input type="checkbox"/> 指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。					
※受理日 年 月 日					





各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	アシストクルー長崎
住 所	長崎県長崎市 1 番地 1 0
電話番号	095-848-5300

事業所番号	4210104909
管理者名	田中 政則
対象年度	令和 7 年度

地域連携活動の概要

地域連携活動の概要	
<p><活動内容></p> <ul style="list-style-type: none">●活動場所：長崎市内協業組合●実施日程：令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 3 日●実施した施設外就労の概要 古紙等の分別・選別作業●利用者数等 利用者 5 ～ 1 0 名	<p><活動の様子></p>  <p>古紙（ミックス）を種類別に選別する業務</p>  <p>古紙（機密文書）類から（ファイル、クリップ等の）異物を除去する業務</p>
<p><目的></p> <ul style="list-style-type: none">●地域連携活動のねらい 実際に事業活動を行っている企業での作業に携わることで、その仕事に係る作業能力の向上の他、一般就労に向け、自分自身のすでに身につけている能力、不足している能力を認識することができ、有益な目標設定や生産活動が可能となる。●地域にとってのメリット 利用者が対応できる工程を補うことで、企業の人手不足解消に寄与し、全体の生産性向上が図られる。●対象者にとってのメリット 対象となる仕事のスキル向上の他、利用者の生活圏である地域から排出される古紙等のリサイクルを通じ、地域の循環型社会の構築に寄与していることを自覚することで、利用者自身が地域の一員として仕事に取り組むことができる。	<p><成果物></p>  <p>古紙（機密文書）類から除去された異物の一部（写真は金属類）</p>  <p>選別された後、圧縮された古紙の一部（写真はシュレッダー）</p>
<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none">●実施した結果 仕事に関する知識、自分自身の役割を理解することで、社会の一員として必要とされていることが自覚でき、就労意欲が増加している。●得られた成果 就労意欲の増加に伴い、入所当初と比較して出勤率が向上した。●課題点 取扱う分別品（古紙等）の種類が多く、今後、請負契約を継続するうえで職業指導員の知識向上も必要である。	

連携先の企業等の意見または評価

<ul style="list-style-type: none">●連携した結果に対する意見または評価●今後の連携強化に向けた課題 人手不足の解消は当組合の運営において最も重要な課題のひとつであり、請負作業を行っていただく利用者の方々のスキル向上が当方の今後の事業展開に大きく寄与するものと考えております。そのためには指導員の方々からの指導が重要となりますので必要に応じて意見交換を行う場を設ける等、今後も作業範囲の拡大等を視野に入れた更なる連携強化を図りたいと思います。			
連携先企業名	協業組合 N	担当者名	K 工場長

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	アシストクルー長崎	事業所番号	4210104909
住 所	長崎県長崎市 1 番地 1 0	管理者名	田中 政則
電話番号	095-848-5300	対象年度	令和 7 年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

利用者の知識・能力向上に係る実施概要	
<p><活動内容></p> <ul style="list-style-type: none">●活動場所：長崎市内協業組合●実施日程：2026.2.27（金）10：00～11：00●実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要 <p>長崎県内で『資源ごみ』のリサイクルを実施している工場内で研修を受講</p> <ul style="list-style-type: none">●利用者数等 利用者 2 名、生活支援員 1 名	<p><活動の様子></p> <p>処理工程別説明の様子</p> <p>長崎市内各所から排出された資源ごみが工場へ搬入されるまでの経緯、搬入経路別の品質との関係について説明がなされた。</p>  <p>資源ごみ選別ラインで実際に行われている作業を確認しながらの各品目の選別基準について説明がなされた。</p>  <p>選別された各品目（写真は無色ビン）毎に引き渡し先及びリサイクル後にどのような商品が製造されるか等の説明を受けた。</p> 
<p><目的・メリット></p> <p>実際の現場で作業内容及びリサイクル方式等の研修を受講することで、一般就労に向けた新たな選択肢（業種）への知識が得られると共に他社職員と接触することでコミュニケーション能力向上を図る</p>	
<p><成果></p> <p>実際の作業工程を詳細に理解することで、利用者が『自分もできる』『自分は今後ここが目標だ』という意識を持つ機会になったことに加え、利用者それぞれのニーズに合った職業（一般就労）研修を受講することで一般就労に向けた意欲の向上効果も得ることができた。</p>	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

<p>当組合としても A 型事業所利用者の方々の研修開催は初めてのことでしたが、日頃から訓練を受けられていることもあり利用者の方々が真剣に取り組まれているということ、それぞれの企業で活躍できるスキルを持っている、またスキル習得の可能性が高いと感じました。当業界も高齢化、人手不足は慢性的な課題となっておりますので新しい戦力として考える機会になりました。</p>	
連携先企業（担当者）	協業組合 N 理事 T 様

利用者からの意見・評価

<p>参加した利用者からの意見・評価</p> <p>会社を訪問し研修を受けたことで、このような仕事があるということを知れたことが良かった。『資源ごみ』の内容は知っていたが、どのようにリサイクルされているかと細かな分別が必要であることがわかりました。選別作業は自分でもできる作業だと感じました。このような研修の機会があれば、自分に合った仕事を見つけるために、積極的に参加したいと思いました。</p>
--